

報道関係者各位

ガールスカウト大阪府連盟、ガールガイド ミャンマー連盟

第1回 国際キャンプ開催

50年の時を経て、国際交流再開

公益社団法人ガールスカウト日本連盟(会長: 浅野万里子 東京都渋谷区)のメンバーである一般社団法人ガールスカウト大阪府連盟(連盟長: 新家庸子 大阪市浪速区)は、大阪府連盟所属のガールスカウト9名とともに12月27日~1月4日にミャンマーを訪問し、来年7月に正式に世界組織へ復帰するガールガイド ミャンマー連盟のメンバー36名と12月28-30日にヤンゴン市内の学校で国際キャンプを実施しました。

国際キャンプ実施の経緯

ミャンマーでのガールスカウト運動は1916年に開始されましたが、1962年の軍事クーデターにより社会主義政権が樹立し、青少年育成は民主主義的発想であるとして中断されていました。中断される以前には、少女時代のアウンサン・スー・チー氏もガールガイドとして活動していました。2011年以降、ミャンマーが民主化へ転換したことを機に、ガールガイド ミャンマー連盟が本年7月に正式に世界連盟に承認されることになりました。ガールスカウト大阪府連盟は2007年から毎年ミャンマーの少女を支援するピースプロジェクトを実施し、高校生・大学生のガールスカウトが同国を訪れて、ミャンマーの少女の教育環境向上のための活動と交流を続けてきたこともあり、今回の国際合同キャンプはこうした民間での継続的な国際交流の中で実施にこぎつけたものです。

キャンプに参加したガールスカウトの感想

「最初はコミュニケーションがとれるか、仲良くなれるか、不安だらけでしたが、ミャンマーのガイドたちは積極的で素直で、私のそんな不安はすぐに吹き飛びました。」

「ミャンマーのガイドたちは一生懸命わたしの話を聞いてくれて、ロープの結び方もテントのたて方もちゃんとわかってくれて、わたしたちが来た甲斐があったなと思うことができました。」

「テーマである”Friendship”がたくさん感じられるキャンプでした。」

「ミャンマーの人たちと濃密に過ごせたキャンプだったので、お別れが悲しかった。またミャンマーのガイドに会いたいです。」

「言葉はなかなか通じなくても友情はうまれる素晴らしさを学びました。」

今回の国際合同キャンプに関して、ご取材いただきましたら幸いです。写真や参加者の感想などほかにもご覧いただけるものがございますので、ご興味持っていただけるようでしたらぜひお問い合わせください。



本件に関するお問い合わせ

公益社団法人ガールスカウト日本連盟 担当 久富、片岡

TEL: 03-3460-0701 FAX: 03-3460-8383 Email: gsj_pr@girlscout.or.jp



生きるが育つ。
ガールスカウト

